

クラス番号	912	ゼミタイプ	サービスラーニング型（NPO）
		担当教員名	下本 英津子
テーマ	理想の地域社会をつくるにはどうしたらいいのだろう？ ＝実践しながら考えよう＝		

ゼミナール概要

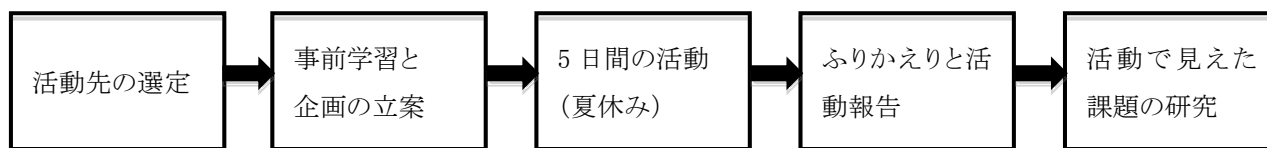
目的、内容、方法等：

人の役に立ちたい、サポートできる人間になりたい…。福祉に関心のある方なら、一度はそう考えたことがあるのではないのでしょうか。ただし、実際のところ、何をすればそれができたことになるのでしょうか？アプローチ方法は無限です。同様に、目指したい理想の地域社会がある、解決したいコミュニティの問題がある場合、私たちは何をすればよいのでしょうか？はっきりとした正解がないなかで、アイデアと工夫にもとづいて地域で実践している方達がいいます。

このゼミでは、地域密着型の NPO 団体の活動に参加することで、その取組内容を学びます。さらに自分だったらどうするかを考え、活動中にそのアイデア（企画）を試していただきます。活動をとおして、様々なことを見聞きし、いろいろな発見をするでしょう。そのなかで現場にどのような問題があるのかに気づき、解決策を考えられる人材に成長することを目指します。

テキストに書かれた知識を学ぶのではなく、実際の体験をとおして、自分なりのよりよい方法を模索していくスタイルの学びです。

授業計画：



ゼミの中心は、夏休みに実施する5日間のサービスラーニングです。また、サービスラーニングを実施するにあたっては、活動先の NPO とどれだけ関係が深められるかがポイントのひとつになります。5日間の活動期間中だけではなく、事前学習やふりかえりなど、NPO の方々と積極的に交流し、やりとりする機会が多くなるでしょう。人に出会い、困ったり喜んだりする経験を積み、そこから考えを深めていきましょう。なお、医療専修ゼミの合同イベントも年に数回予定されています。

テキスト等：

定められたテキストはありません。現場での学びをとおして、自分が知りたいと思ったところをスタートにして、必要な情報を集めましょう。

担当教員からのメッセージ

最近の仕事：

大学講師、調査研究（文化人類学）、防災コンサルタント、NPO スタッフ（学習支援・子ども食堂）

好奇心が旺盛らしく、はじめていく場所や調査が大好きです。また、これまでに、いろいろな分野での仕事をお手伝いしてきました。和菓子職人、骨董屋、料亭の仲居、寿司職人などなど…。それぞれの分野に、経験にもとづいた知恵や世界観をもった「すごい人」がいるものです。

生きていくうえで大切なことは、いわゆる「偉い人」よりも、彼らから学んだ気がします。みなさんも、地域でひそかに活動する「すごい人」に出会ってください。そして、知識を学ぶのではなく、体験や実感をとおして学びを得るのです。そこでの気づきを、どれだけ深く咀嚼できるかが要です。人間に興味があり、人と関わることが好きな人（好きになりたい人）、一緒にがんばりましょう。